

坪井執事、大震災現地視察報告

(東日本大震災被災地に赴いて)

併せて、以下のサイトから写真を見ることが出来ます。

アルバムの情報

* アルバムのタイトル：

20110319~20

* アルバムの URL：

<http://30d.jp/nskk-kobe/1>

* 合い言葉：

しんさい

行動・現状

3月18日、夜神戸を発

・前々日より多方面より物資の援助を受ける。

今回運んだもの

- 1、石油ストーブ 2 機
- 2、灯油 132 リットル
- 3、ガソリン 50 リットル
- 4、携帯水タンク 10 リットルもの 25 ケ
- 5、水ペットボトル 2 リットル 16 本
- 6、カイロ 30 ケ入り 7 箱 + α
- 7、カップ麺類 36 ケ
- 8、オムツ類
- 9、トイレットペーパー
- 10、ティッシュペーパー
- 11、毛布
- 12、カセットコンロ用のボンベ 15 本

なお、物資に関しては、多くの物が神戸のホームセンター等になくて、満足な数量を持って行けなかった。

また、上原司祭に阪神淡路の頃に送られまだ使用できる物資を多数提供してもらった。

東京教区信徒 吉村誠司氏の尽力により、緊急車両の証明をとってもらえた。（この証明がとても効力を発揮する）
証明を頂きに長野県経由で仙台を目指す。

なお、今回最初は、新潟から月山辺りの山越えをして山形を経て仙台のルートを設定していたが、緊急車両の証明のお陰で、磐越道から東北道を経て仙台にはいる事ができた。（所要時間が大幅短縮、途中の給油も可能）

3月19日 午後2時頃仙台キリスト教会着

加藤主教にお見舞金と物資を渡す。

その後、木川田主教を訪問

仙台市内は見たところ建物等の損壊などの大きな被害はない。また、電気や水道の復旧が進んでいる。

（木川田主教邸はオール電化だったので、普段通りの生活が出来ておられた）

物資に関して、ガソリン等の燃料系が底をついている。
ガソリンを入れるため、そごうの駐車場車を入れる以上の待ち時間を要している。また店舗も様々な物資が届かず閉めているところが多い。

その後、石巻市で吉村氏と合流、19日～20日にかけて現地の状況を伺った。

石巻は津波の被害を受けた所。

震災と水害の両方を食らったため、グチャグチャ。

海岸地域は一週間経った今でも、殆ど手がつけられていない。

沢山の自衛隊員は、先ずは行方不明者の搜索であり、重機を使いつつも、一気に片付ける事はできないようだ（法的な壁もあるらしい）。

また住民も戻ってきて家の周辺を片付けている人もいるが、大半の家は、静まり返っている。その家に住んでいた人が無事なのかどうなのかはわからない。

た、公設の避難所だけでは足りない。被災した小学校（一階部分はさらわれて何も無い）の二階部分で生活している方々もおられた。きっと役所の出す避難住民数にはカウントされていないだろう。

今迄私が知りうる限り、その様なカウントされない被災者をボランティアが支えていた。

ところが、今回は交通の便が悪く、併せて燃料系の物資の不足、手を差し伸べる場所の多さ、余りにも広範囲ゆえどこから手をつけるべきか見えないところもあり、ボランティアがいない。物資は行政の集約所までは来ているが、そ

こちらから被災者の所に行き渡っていない。

死者と生者の両方をサポートするための人手が余りにも足りない気がする。

なお、現在、仙台発の高速バスが復旧し、仙台への唯一の公共交通機関になっている。緊急車両の証明を生かしていただくため、車を仙台に残し高速バスにて新潟から帰神した。月から金まで学校の仕事（その後車を取りに行く予定）

えらそうなことを書きます。

緊急車両の証明は本当に役に立ちます。

ただ、阪神淡路の震災の時にコピーが出回り混乱したので、発行を厳密にしているようで、簡単には手に入らないらしいですが、でも、もし物資輸送の名目で証明を取り、車を現地に貸すことができればいろいろな面で役立つだろうと思われます。今移動手段・運搬手段は車しかないのです。

荷物車（4ナンバーのワンボックスような）で、明確な事業者（運送業が最適）ならば証明が降りるらしいです。教区内（管区でも）で適する車両等ないでしょうか。車両が準備できましたら、現地まで持ってまいります。

とりあえず、この様な状態です。